

幕別町廃棄物減量等推進審議会会議報告（議事録）

- 1 日 時 令和6年3月25日（月） 10時00分～10時50分
- 2 場 所 幕別町役場3階会議室A B
- 3 出席者 （委員）
矢野義則、上田敏也、森 徹、岡本幸穂、菊池勇二、岩野英法、
千葉美由紀、相馬勝彦
(13名中8名出席)
(事務局)
寺田住民生活部長、井上防災環境課長、山岸防災環境課参事、
谷口地域振興課長、佐々木地域環境係長、森主査、古市主査
欠席者 （委員）樋渡敦、安部史郎、沼口信昭、竹内睦、池田明子
(13名中5名欠席)

4 審議内容

① 会長の選任について

幕別町廃棄物の処理及び清掃に関する規則第3条に基づき、委員の互選により矢野義則さんが選任された。

② 副会長の選任について

会長の選任と同様に、委員の互選により岩野英法さんが選任された。

③ 報告第1号 令和4年度ごみ排出量の実績について

幕別町第2期ごみ処理基本計画<改訂版>に基づく令和4年度のごみ排出量の実績及び検証について説明を行った。

【要旨】

- ・ 令和4年度から忠類地域のごみ処理が十勝圏複合事務組合に移行したことにより、資源ごみ及び直接搬入ごみの搬入量が合算となり、地域別の排出量が不明であることから、可燃ごみ以外の検証は全体実績のみで行う。
- ・ 計画収集ごみ全体及び可燃ごみの排出量について、令和2年度・3年度と増えていたが令和4年度は減少に転じた。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大による在宅時間の増加に伴いごみの排出量も増加していたものが、令和4年度は、外出自粛が緩和された影響でごみの排出量も減少に転じたものと考えられる。
- ・ 直接搬入ごみ排出量は、コロナ禍による事業所や飲食店の休業により令和2年度、3年度は減少していたが、令和4年度はコロナ対策の緩和により微増に転じたと考えられる。
 - ・ リサイクル率は、目標に達しておらず、差も開いている状況である。これは、町内会加入者の減少による集団資源回収量の減少が主な要因のほか、計画収集

での資源ごみ排出量も微減が続いていることから、町民への啓発を引き続き行う必要があると考えられる。

- ・ ごみ処理基本計画の基本目標である「自然との調和で快適な住まいる」実現のため、3つの基本方針に基づき様々な取り組みを行っている。今後も引き続きごみの減量化に向けて取り組んでいく。

※ 質問・意見なし

② 報告第2号 新中間処理施設整備について

新中間処理施設の事業概要やこれまでの事業進捗の経緯、事業費等について説明した。

【要旨】

- ・ 事業期間は、事業契約締結日の翌日から令和30年3月31日までとなり、このうち令和10年3月31日までが建設・設計期間、以降の20年間は運営期間となる。
- ・ 事業方式は、組合が施設を所有し、落札者の構成員等を選定事業者として施設の設計、建設、運営を一括して行うDBO方式とする。
- ・ 令和5年8月にPFI事業等審査委員会により落札者を決定したところ。
(落札者：JFEエンジニアリンググループ)
- ・ 落札額は税込み53,471,000千円であり、このほか用地費や系統連系工事費を合わせて、54,005,149千円が事業費となる。このうち、本町の分担金は3,207,116千円となる。

※ 質問・意見なし